

EcoNetworks



チーム・サステナビリティ

EcoNetworks

私たちは、世界 192 カ国にネットワークを広げる
環境と経済と語学のスペシャリスト集団です。



理念 Mission

私たちがめざすのは、人と自然と社会の新しい関係。
一人ひとりの「個」を、そしてカエルやミミズのような生き物を
大切にできる、サステナブルな共生社会です。

だから

私たちは、ネットワークの力を駆使して
文化の壁を越え
距離の壁を越え
時間の壁を超え
常識の壁を超え
人と自然、人と組織の壁をも越えて、
人も自然も、誰もが幸せを共有できる共生社会の礎を築いていきます。



メッセージ Message

代表 小林一紀

Point of no return.

人類は今、大きな岐路に立たされています。

溶けゆく氷河、広がる砂漠、干上がる湖、異常気象。

スピードを加速しながら人口増を続ける人類、枯渇しつつある化石燃料。

開発を「善」とし、経済発展を続けてきた人類が、

はじめて価値観と意識の変革を迫られているのです。

この地球規模の試練を前に、私たちにできることは何でしょう？

・・・その答えはシンプルです。「自らが変わること」。

その変化のキーワードとなるのが、「サステナブル」です。

幸い、私たちは、世界中を瞬時につなげる

ネットワークという力を手に入れることができました。

この力は、使い方ひとつで、小さな小さな「個」のアイデアを

世界中に広げ、大きなムーブメントへと育てることも可能にします。

エコネットワークス (ENW) は、チーム・サステナビリティ。

従来の「会社と従業員」というカタチではなく、

志を同じくする環境、経済、法律、社会、語学、

各分野のスペシャリストである「個」の集まりです。

組織にとらわれない自由な発想と、柔軟なワークスタイルで、

プロジェクトごとに、さまざまな領域のプロフェッショナルが

チームを組み、最適な解決策をご提供します。

企業と個人、日本と世界、生産者と生活者、さまざまな異文化の

コミュニケーションを支援し、共振の場をつくることで、

改革のムーブメントを広げ、サステナビリティの力に

変えていく触媒となり、共生社会の実現に貢献したいと考えています。

小林 一紀 (こばやし かずのり)

1976年東京生まれ。19歳で渡米し、ニューヨーク州立大学を経て、カリフォルニア大学バークレー校天然資源学部を卒業(環境経済学・政策学科)。

コンサルティング会社勤務を経て、2005年からエコネットワークス代表取締役。NGO ジャパン・フォー・サステナビリティ マネジャー、東京大学大学院工学部システム創成学科 非常勤講師も務める。現在、高尾山の奥、藤野町に在住。

訳書に、「マネー崩壊～新しいコミュニティ通貨の誕生」(B.リエター著、日本経済評論社、2000年)、「シリコンバレーは死んだか」(M.ケニー著、日本経済評論社、2002年)など。

EcoNetworks



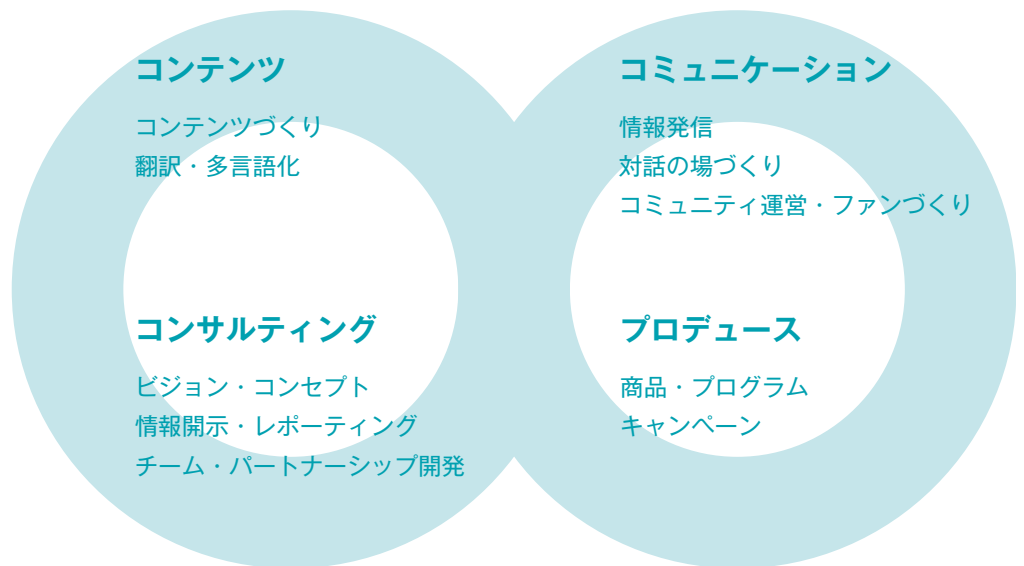
業務内容

私たちの仕事は、社会の持続可能な発展のためのコンテンツづくりと仕組み開発です。

従来の「会社と従業員」というカタチではなく、志を同じくする各分野のスペシャリストである「個」が集まり共振する、無限の可能性を秘めたチーム力が私たちの一番のセールスポイント。エコロジーとエコノミーを両立させる今までにない付加価値を提供し、持続的な発展のための取組みをサポートします。



業務の全体像



チーム・サステナビリティ





どのように、
サステナビリティを取り入れ
カタチにすればいいのでしょうか？

私たちは、誰よりも
お客さまにとって良いこと、サステナビリティにとって良いことを考え抜き、
コンテンツづくりと仕組み開発をお手伝いいたします。

エコネットワークス (ENW) はここが違う！



確かな専門知識がある。

専門分野の翻訳では、実力、実績ともに日本一を自負しています。環境・CSR・サステナビリティに対する確かな知識を持つ30名もの翻訳者のネットワークで、政府や企業の公式レポートなど、和文約30万文字、英文約15万ワード（年間）の翻訳を手がけています。加えてコーディネーターの丁寧なサポートで納得いくコミュニケーションを実現します。



サステナビリティの思考力がある。

私たちは日々、ネットワークを駆使してサステナビリティの研究と情報発信を実施しています。その経験に基づいて、「サステナビリティとは」「サステナビリティ経営、サステナビリティ・コミュニケーションとは」を掘り下げ、お客さまとの対話を通して新たな思考を提供します。



圧倒的なネットワークと情報力がある。

私たちは、国際機関、格付け機関、主要なNGOや市民団体、ブロガーを含め、世界192カ国のステークホルダーとの圧倒的なネットワークで、素早く世界各地の情報を収集・分析。どこにも負けない、サステナビリティに関する思考と情報発信の技術で、信頼性の高いコンテンツを開発しお届けできます。



エコネットワークス(ENW)のサービス



コンテンツ

コンテンツづくり

テキストをはじめ、映像、イラスト、アプリまで。ニーズに合わせた、サステナビリティに関するコンテンツを、言葉の壁を超えて、多言語・非言語でご提供します。ターゲットも、子どもから投資家まで、幅広く対応。「伝わる」以上の「響く」コンテンツをプロデュースします。

翻訳・多言語化（日・英・中ほか）

「翻訳の質に納得いかず、修正が大変だった。」

そんなご経験はありませんか？環境やCSRの分野では、国内外の文化や背景の違いから、正確な訳語をあてるだけでは読み手に伝わらないことがあります。背景知識を有し文脈を理解するネイティブ翻訳者と翻訳コーディネーターが、専門的文書の翻訳・多言語化を丁寧にサポートします。コピーライティングもお手伝いしています。

実績

- ・大手金融 温暖化ファンド関連ブックレット
- ・大手金融 社内向けCSRニュース
- ・中堅小売 お客さま向けコラム
- ・大手メディア 環境コンテンツ監修
- ・米国水族館 映像作成支援
- ・大手メーカー 環境アクション映像

- ・大手企業CSRレポートIPCC第四次レポート CDM/JIマニュアル
- ・生物多様性条約COP10 日本政府公式HP
- ・国連 国際生物多様性年HP
- ・環境省 発表資料
- ・大手環境展示会HP



コミュニケーション

情報発信

世界192カ国に広がるENWのネットワークと言語力で、お客さまのグローバル・コミュニケーションをサポートします。従来の広告発信ではリーチしにくいオンラインメディアやインフルエンサーを対象に丁寧に情報を届けていくことで、ブランディングやファンづくりにつながる情報発信をご支援します。

対話の場づくり

「社外の意見を取り入れるべく、各分野の専門家にアドバイスを求めたい。」国内外に広がるネットワークを持つENWだからできるアレンジメントで、対話の場づくりをご支援します。社会に求められる自社の「あるべき姿」を模索し、中長期の戦略立案に。また、生活者、投資家、ビジネスパートナー、NGO、国際機関、行政機関などとのパートナーシップ形成に、対話・ダイアログをご活用ください。

コミュニティ運営・ファンづくり

「どうやって新たなファンを獲得し、関係性を構築していくか。」革新的なメディアが登場し、個人が発信力を手にする時代において、企業と個人をめぐる関係、ブランド形成の力学が大きく変わりつつあります。私たちは、「共感」や「個」への視点を基本に、メール、ウェブ、FacebookやTwitterなどのソーシャルメディアの最適な組み合わせと対話によって、コミュニティ運営、ファンづくりの企画・実行をご支援しています。

- ・大手モビリティ 海外向けCSR情報発信アドバイス
- ・大手展示会 海外PRとツアー
- ・大手電機 欧州向けCSRメッセージ開発
- ・大手電機 グローバルCSRメッセージ開発
- ・大手電機 海外向けCSRサイトレビュー

- ・大手食品、建設、金融、小売、消費財などのステークホルダー・ダイアログ
- ・大手モビリティ 海外ステークホルダーダイアログ（欧州、中国）
- ・大手金融 マテリアリティ調査の企画
- ・大手10社と米国投資ファンドの対話仲介
- ・大手環境展示会 中国メディア座談会

- ・大手メーカー グローバル環境イベント
- ・大手メーカー グローバルオンラインメディア
- ・大手展示会



エコネットワークス(ENW)のサービス



コンサルティング

ビジョン・コンセプト

「経営にサステナビリティの観点を取り込み発展したい。」
私たちは、そんな企業のビジョン・コンセプトづくり、中長期目標設定、仮説検証をご支援しています。国内外の主要企業について、「ビジョン体系」「目標設定」「重点テーマ」「パートナー」「コミュニケーション」など多面的な角度から分析。特に、市民・専門家から見た視点、2050年までの長期の視点、海外市場を含むグローバルな視点などをご期待頂いてのご依頼が増えています。

情報開示・レポート

「サステナビリティ、CSRの視点から、情報開示をどう進めるべきか。」私たちは、コンセプト・企画立案から、開示情報の選定、取材・執筆・編集、発信とコミュニケーションの支援、全体の監修まで、様々な局面でお手伝いしています。各種ガイドライン、国内外多数のベンチマークに基づいて、きめこまかな具体的アドバイスをご提供しています。

チーム・パートナーシップ開発

「ステークホルダーと、ポジティブな方向でいかに力をあわせるか。」社内では、アルバイトから営業担当者、経営層まで。社外では、お客さまから事業パートナー、NGOまで。私たちは、各ステークホルダーの立場・視点にたち、コンセプトに基づいて、対話・関わり合いを深め、新しい解決策を生み出すチーム・パートナーシップ開発をご支援いたします。

実績

- ・大手流通 CSR方針開発
- ・大手メーカー 長期環境ビジョン・戦略分析
- ・大手メーカー 長期環境ビジョン・戦略分析
- ・大手メディア 環境戦略フレームワーク作成支援
- ・大手メーカー 環境・CSRビジョン作成支援

- ・大手自動車、金融、通信、小売、電機企業などのべ20社
- ・レポートに関する受賞歴
東洋経済新聞社 環境報告書賞
地球人間環境フォーラム 環境コミュニケーション大賞、持続可能性報告優秀賞、環境報告マイスター賞など

- ・大手通信 CSR経営に関する講義
- ・国立大学大学院
サステナビリティ論に関する講義
- ・大手メディア
海外の環境情報発信に関する講義
- ・学会年次総会
サステナビリティ指標に関する講義
- ・大手メディア NGOとの対話
- ・大手モビリティ 中国NGOとの対話



プロデュース

商品・プログラム

「海外で、ソーシャル、環境の視点から、新たなプログラムを打ち出したい。」私たちは、世界各地の現地パートナーと連携し、ベンチマーク、コンセプト・仮説づくり・検証、パートナーとの関係構築をご支援しています。

キャンペーン

「グローバルに通用し共感を得るキャンペーンを打ち出したい。」私たちは、キャンペーンのベンチマーク、プランニングからコンセプト・ロゴ制作、個別のコンテンツづくり、アートディレクション、実行支援をご支援しています。海外を対象にした企業のキャンペーン、展示会、コンテストで経験を重ねています。

- ・大手メーカー
- ・コーズ・リレーティド・マーケティング企画、BOP(ボトム・オブ・ザ・ピラミッド)企画
- ・大手メーカー 環境教育プログラム監修
- ・大手メーカー 学校教育プログラム調査

- ・グリーン電力利用促進の国内キャンペーン
- ・温暖化対策アイデアコンテスト
“Cool the Earth 2008”
- ・写真コンテスト“Disconnected World”
- ・大手メーカー グローバル環境イベント



会社概要

会社名	有限会社エコネットワークス
所在地	〒214-0034 神奈川県川崎市多摩区三田 1-12-5-138
Tel&Fax	044-933-7639
URL	http://www.econetworks.jp
設立	2002年7月
資本金	300万円
代表取締役	小林一紀
役員	野澤健
ディレクター	二口芳慧子 細島史郎

沿革

ヨハネスブルグ地球サミットが開催された2002年、エコネットワークスは、持続可能な社会を目指す NGO 「Japan for Sustainability」のパートナー組織として設立されました。世界に向けて環境情報を発信し、サステナビリティ指標の研究や垣根を超えたコミュニケーションをサポートする同組織の活動を、収益を通じて支援する役割も担っています。

アクセス 小田急線生田駅より徒歩10分。

